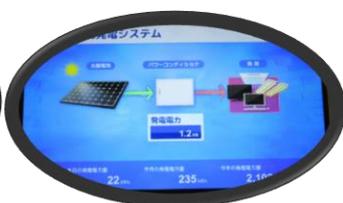


「渋谷本町学園別棟校舎」太陽光発電設備のご紹介

令和5年9月に竣工した「渋谷本町学園別棟校舎」の屋上には、18枚の太陽光発電パネルが設置されています。この装置は、公益財団法人東京都環境公社が実施する「地産地消型再エネ増強プロジェクト助成金（都内設置）」を活用し、発電された電力は「再生可能エネルギー」として校内の各設備に供給され、当該施設で消費（地産地消）しています。これにより温室効果ガスの排出削減及び電力系統への負荷軽減を図っています。



🌞 太陽光発電概要 🌞

①導入場所：「渋谷本町学園別棟校舎」屋上部分

②導入目的

渋谷本町学園内で消費する電力の一部を再生可能エネルギーにて補い、渋谷区長寿命化計画に基づく取り組みとして、脱炭素社会の実現に向けて再生可能エネルギーの導入等を推進し、環境との共生に配慮するため。

③参考情報

今回、「最大出力：6.75 kW（375 W パネル×18 枚）」を設置したが、この場合の年間二酸化炭素削減量・年間発電量は以下のとおりであり、施設内の合計電灯負荷（設計上の施設全体の瞬時最大使用電力約 42kW）の 5%～10%程度を賄える。

年間二酸化炭素削減量：2,905 kg-CO₂/年

年間発電量：7,271 kWh/年

④省エネルギー対策の取組内容：使わない教室の電気や空調機器のスイッチを切るよう取り組んでいる。

⑤公表方法：渋谷本町学園 HP にて公開